

科目名 家庭基礎

単元名 C 持続可能な消費生活・環境

内容のまとめ (2)消費行動と意思決定

1 単元の目標

- (1)家計の構造や生活における経済と社会の関わり、及び家計管理や多様化する支払い方法について理解するとともに、消費者の権利と責任を自覚して、自分自身の立場に合わせて行動できるよう、消費生活の現状と課題、これからの消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解を深める。
- (2)自立した消費者として、生活情報を正しく活用し、適切な意思決定に基づいて行動する力を身に付ける。また、責任ある消費についてこれからの生活に関わる身近な課題を設定し、解決策を構想し、交流を通して実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家計の構造や生活における経済と社会の関わり、及び家計管理や多様化する支払い方法について理解しているとともに、消費者の権利と責任を自覚して、自分自身の立場に合わせて行動できるよう、消費生活の現状と課題、これからの消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。	自立した消費者として、生活情報を正しく活用し、適切な意思決定に基づいて行動する力を身に付けている。また、責任ある消費についてこれからの生活に関わる身近な課題を設定し、解決策を構想し、交流を通して実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

生徒の様子

本校は普通科高校であり、1年生で家庭基礎2単位を履修している。勉強や部活動に一生懸命に取り組む生徒が多く、また地元探究活動や市が開催するイベントやワークショップ、ボランティアに積極的に参加し、地元を大切にしている生徒も多い。昨年度の修学旅行の際、何人かの生徒がpaypayで支払いを行っていた。そこで今年度の4月に1年生にアンケートを取った結果、プリペイドカードやデビットカード、クレジットカードのキャッシュレス決済について説明できる生徒は多くなかった。そこで9月に同地区の高校にアンケートを実施したが、同様にキャッシュレス決済を説明できる生徒は多くなかった。

3 指導と評価の計画

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考（・は評価規準（ ）は評価方法）
1	契約と主体的な消費行動 【ねらい】「契約」について学習し、消費行動における意思決定のプロセスや、生活情報の活用について学ぶ。			
	・さまざまな契約や主体的な消費行動について学習する。 ・「本日の振り返りシート」を記載する。	知① 主①	(★) ○	・「契約」の基本的なしくみを理解できる。（評価テスト） ・自分たちが消費行動を日々行っている消費者であることを理解し、消費行動においては、都度意思決定が行われていることが理解できる。（評価テスト） ・【消費者としての意識】（振り返りシート）
2	多様化する販売方法と問題商法 【ねらい】多様化する販売方法について、それぞれの特徴を学ぶ。またさまざまな問題商法や、被害にあった場合の解決方法について学ぶ。			
	・多様な販売方法や、問題商法の種類と対処法について学習する。 ・「本日の振り返りシート」を記載する。	知② 思① 主②	(★) ○ ○	・多様化する販売方法の種類や内容について知識が身についている。（評価テスト） ・問題商法の種類や対処法について知識が身についている。（評価テスト） ・問題商法の被害を未然に防いだり、早期に解決したりするための方法について思考・判断ができる。（ワークシート） ・【自身の消費行動の振り返り】（振り返りシート）

3	消費者を守る制度・法律 【ねらい】 消費生活にかかわる法律・制度を学ぶ。		
・消費者と事業者の間の力の差を埋めるための制度や法律について学習する。	知③	(★)	・消費者契約法・特定商取引法などの法律、クーリング・オフ制度や製造物責任法など、消費生活にかかわる法律・制度を理解できる。 (おっと！落とし穴、評価テスト)
・「本日の振り返りシート」を記載する。	思②	○	・ロールプレイングを通して、不意打ちの勧誘を受けた際の対応について思考・判断ができる。
・「本日の振り返りシート」を記載する。	主③	○	・【ロールプレイングの振り返り】(振り返りシート)
4 本 時	多様化する支払い方法① 【ねらい】 さまざまな支払い方法のしくみや計画的にお金を使うことの大切さを理解する。		
・多様化している支払い方法(キャッシュレス決済)について学習する。	知④	(★)	・多様化する決済方法(キャッシュレス決済)の種類について理解できる。(評価テスト) *消費者としての弱点を見つける。 *キャッシュレス決済の分類について学ぶ。 *キャッシュレス決済と現金決済のメリットを考える。
・消費者として正しい行動を考えることができる。	思③	○	・物やサービスを購入する際の支払い方法について、様々な立場で思考・判断ができる。(グループ活動)
・「本日の振り返りシート」を記載する。	主④	○	・【今後の決済方法について考えが変わったこと】(振り返りシート)

5	多様化する支払い方法② 【ねらい】 さまざまな支払い方法のしくみや計画的にお金を使うことの大切さを理解する。		
<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードの仕組みについて学習する。 ・「本日の振り返りシート」を記載する。 	知⑤ 思④ 主⑤	(★) ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードワークブックやクレジットカード見本や明細見本を見ながら、クレジットカードの正しい使い方を理解する(Q2、4、6、9、10、11、12、13)。(評価テスト) ・クレジットカードワークブックやクレジットカード見本や明細見本を見ながら、クレジットカードの正しい使い方を理解する(Q1、3、5、7、8、14)。(ワークシート) ・【クレジットカード使用時に気を付けること】(振り返りシート)
6	消費者の権利と責任 【ねらい】 消費者の権利を守るためのしくみや法律、権利と責任について学ぶ。		
<ul style="list-style-type: none"> ・近年の消費者問題を学び、問題解決のための消費者運動や消費関連の法律を学習する。 	知⑥	(★)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題や消費者運動、消費関連の法律行政について理解できる。(評価テスト) ・消費者の権利と責任について理解できる。(評価テスト)
持続可能な社会の構築 【ねらい】 地球的規模の環境問題に対して、世界や日本の現状を学ぶ。また循環型社会をめざすための法律について学ぶ。			
<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題の現状や循環型社会をめざすための法律について学習する。 	知⑦	(★)	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチック問題や地球温暖化の現状について理解できる。(評価テスト) ・循環型社会を形成するための法律がわかる。(評価テスト)
持続可能な社会をめざす取り組み 【ねらい】 私たちの生活と環境問題との深いかわりに気づき、自らの行動や選択を環境に配慮したものに変えることができるように考える。			
<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会に向けて、自らの行動や選択を見つめなおす。 ・「本日の振り返りシート」を記載する。 	知⑧ 思⑤ 主⑥	(★) ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。(評価テスト) ・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。(ワークシート) ・【今日からできる持続可能な社会を作る行動】(振り返りシート)

4 学習活動と評価方法（学習指導案）

科目名	家庭基礎	指導クラス	1年	
単元名	消費行動を考える	使用教科書	家庭基礎（実教出版）	
本時の主題	多様化する支払い方法（4時間目／6時間）			
指導観	高校生にもなると、ある程度自分でお金の管理ができるようになり、自分の意志でものやサービスを購入することが多くなる。一方で支払い方法は多様化しており、近年では「キャッシュレス決済」を使う高校生も増えてきた。今回は生徒自身が様々な立場に立って、より適した支払方法を選択できるようにさせたい。			
本時の目標	多様化する支払い方法 ～様々な立場で支払い方法を選択しよう～			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価規準と評価方法	指導上の留意点
導入	・自分自身を振り返って、高校生の現状の把握	<p>（1）お小遣い帳の反省 9月1～30日に実施した「お小遣い帳」の振り返り、地区の高校生のキャッシュレス決済利用の現状を知る。また消費者としての弱点を発見する。</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済を利用したことがある地区の高校生と全国の高校生の割合がほぼ同じであることに気づく。 ・弱点チェックでは、ほとんどの項目でチェックが付かず、弱点が多く見つかる。 		本時の目標を確認させる。
		<p>本時の目標 多様化する支払方法を知り、自分に適した方法を選択できるようにしよう。</p>		
展開	・キャッシュレス決済の特徴	<p>（2）キャッシュレス決済の分類 支払いタイミングの違いから、それぞれのキャッシュレス決済の特徴をまとめる。</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「8章経済的に自立する」を学習する前に触れたため、反応に答えてくれる。 ・QR/バーコード決済には、前払い・同時支払い・後払いがあることに気がつく。 		事前に学習しているため、生徒の発言を求めながら確認する。

		<p>(3) キャッシュレス決済と現金決済のメリット</p> <p>キャッシュレス決済を利用したことがなくても、社会にとってのメリットを考えてみる。</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <p>【キャッシュレス決済のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ1台で支払いが可能 など。 <p>【現金決済のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国どこでも使える など。 	<p>【思考・判断・表現 - ③】</p> <p>それぞれの事例に立ったとき、自分にとってどの支払い方法が適しているのかを考 えることができる。</p> <p><評価方法> グループ活動</p> <p><Aの例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの支払い方法の特徴をしっかりと理解しており、理由がはっきりしている。 <p>またデメリットについてもしっかりと考えることができている。</p>	<p>キャッシュレス決済を使ったことがない生徒は、なぜ使わない(使えない)のか=デ メリット中心に書かせる。</p> <p><Bを実現するための指導></p> <p>今の自分が、お金を自由に使えるとしたら、どの支払い方法を選ぶか考えさせる。 またデメリットについては、仲間の意見を参考に考えさせる。</p> <p><Cの手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特徴を説明し、今の自分だったらどの支払い方法を選ぶか考えさせる。
		<p>(4) Case Study</p> <p>①～③の事例をもとに、大学生の立場に立って支払い方法について考える。</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <p>【Case Study①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード型電子マネー：毎日決まった金額なので、事前に準備ができる。 ・QR/バーコード (前払い・同時支払い・後払い)：朝は忙しいので、素早く支払いを行いたい。 ・現金：財布はいつも持っているため。 ・デビットカード：その場ですぐに銀行口座から引き落とされるため、金銭管理がしやすい。 ・クレジット：なし <p>【Case Study②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金：現金割引のお店もあるため。 ・デビットカード：店舗販売でも通信販売でも、カードのほうがお金の移動が楽。 ・QR/バーコード決済 (同時支払い・後払い)：もし財布をもっていなくても、その場ですぐに購入ができる。 ・クレジットカード：来月には7万貯まるため。 		

		<p>【Case Study③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金：残金を把握したい。田舎のお店でも使える。 ・デビットカード：予算をオーバーしても、10万円までなら支払いが可能。 ・QR/バーコード決済（同時支払い・後払い）：すぐに支払いができるため、レジがスムーズ。 ・クレジットカード：予算をオーバーする可能性がある。 <p>【①～③のデメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えることは難しく、デメリットまで出てこない。 			
		<p>まとめ 購入するものやサービス、購入する場所が変われば、支払い方法も変わる。支払い方法を限定するのではなく、様々な支払い方法の特徴を理解したうえで、上手に使いましょう。</p>			
<p>まとめ 整理</p>	<p>・今後に生かす</p>	<p>(5) マイルールを作ろう キャッシュレス決済を利用したことがなくても、いつか利用するときのために、マイルールを作成する。</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードを使用する場合は、毎月利用金額を定める。 ・カード型電子マネーを使いすぎないようにするために、たくさんチャージしないようにする。 		<p>現在キャッシュレス決済を利用している生徒には、反省を踏まえて書かせる。</p> <p>本時の振り返り課題について振り返えさせる。</p>	
		<p>(6) 本日の振り返りシート 本時の内容を振り返り、自分の考えを記入する。</p>			

□工夫している点

支払方法のメリットデメリットだけで選ぶのではなく、購入するものやサービス、購入する場所が変われば、支払方法も変わることを、Case Study①～③で学ぶことができる。また forms のアンケート機能などを使用し、グループ以外の仲間の情報を得ることができる。